



データ科学教育スキームの実施に際して

(実施してみて分かったこと、課題、良かった点など)

2025年7月30日(水)

東京女子大学 現代教養学部 情報数理科学科,
AI・データサイエンス教育研究センター 運営委員

新田 徹

1. 履修の状況

- 履修状況は概ね良好
- 成績は、全体的に両校の想定通り。成績分布も本学の他の科目と同程度。教科書は本格的な内容である一方で、動画はわかりやすい説明となっている (担当教員談)。「データ科学入門 α」 > 「データ科学入門 β」
- 「データ科学入門 α」に続いて開講された「データ科学入門 β」では、受講の放棄と思われる極端に低いテストの点数が散見された (その数は想定通りの数ではあった)。
- → 「データ科学入門 α」終了から「データ科学入門 β」開始までが1週間と短かったため、「データ科学入門 β」に対する学生の受講意図が追いつかなかったことも一因・・・？

- 学生へのケアやエンカレッジ、あるいは、「データ科学入門 α 」から「データ科学入門 β 」へのスムーズな移行を促す仕組みを用意した方がいいかもしれない。
- → たとえば、学生へのアナウンスをより早めに行うなどが考えられる。特に、最初の課題締め切りに対するアナウンスメントが大切。

2. 履修者の定員

- 「データ科学入門 α」と「データ科学入門 β」のそれぞれの定員を100名とした（業務処理上の制約による）
- → 履修申請者数が100名を超えたので制限をかけた
- 2025年度以降は定員150名の体制を整えていただいた。

3. 受講を促すアナウンスメント

- 練習問題や小テストの締め切りのアナウンスメントは、学生に**受講を続けさせるための肝(ポイント)**。
- → 毎週決まった時間に登校する対面授業とは違い、学生が自分自身を律する必要がある。
- 「オンデマンド授業の場合、1回諦めると二度と戻って来ない」(担当教員談)

4. 「データ科学入門 γ 」受講の体制について

- 現状、「データ科学入門 α 」と「データ科学入門 β 」を受講せずに、いきなり「データ科学入門 γ 」を受講することもできる。しかし、「データ科学入門 α 」と「データ科学入門 β 」の内容を学ばずに、いきなり「データ科学入門 γ 」の内容を理解することは難しいので、対策が必要。
- 実際、2025年度の状況を見てみると、いきなり「データ科学入門 γ 」を受講した学生の場合、合格率は低かった。

- 対策として、シラバスで注意を促す: 「データ科学入門 γ 」を受講する場合、「データ科学入門 α 」と「データ科学入門 β 」を履修済みであることが望ましい、などと書く。
- ただし、意欲のある学生のため、「データ科学入門 α 」と「データ科学入門 β 」を履修せずに「データ科学入門 γ 」を履修することは妨げない(オープンにしておく)。

5. 学生からの質問

- 「データ科学入門 α 」と「データ科学入門 β 」を通して、質問は1件のみ(LAバーチャルオフィス：早大様ご提供)であった。
- オンライン上のディスカッション掲示板(早大様ご提供)への書き込みはなかった。
- 東京女子大学にて対面のオフィスアワーを用意していたが、質問はなかった。

● 質問の割合

○ 東京女子大学： 質問数／受講者数＝1/198 (のべ受講生)＝ 約0.5%

○ 早稲田大学： 質問数／受講者数＝320/約18,500＝ 約1.7%

● … 対面での相談 93%、LAバーチャルオフィス 7%(オンラインは敷居が高い?)

● (サンプル数が随分と違うので、あくまで参考程度)

● → 分析が必要:

● 他大学の学生のため質問しにくかったのか?

● 女性特有の現象なのか。

● などの観点から。

● → 途中経過(アンケート):「質問する必要がなかった」(約4割)

6. 授業担当者の負担

- 「それほどの負担感はなかった」
- 「授業準備については、教材が既に用意されているため、主にその内容を読み込み、学生からの質問に適切に答えられるよう準備することに集中」

7. 今後の課題

- 教育効果の測定

